



発行所  
(株)日本鑄物工業新聞社  
大阪市北区菅原町2番3号  
TEL (06)6363-3766  
FAX (06)6363-0755  
編集兼発行人  
粟田 忠 宏

神戸製鋼の鑄物用銃

# 日本刀になった キャストロイ

## 3月30日、BSジャパンで放映

高級鑄物用銃「キャストロイ」(EP銃・SP銃)話題を呼んでおり、BSジヤパン(BSデジタル放送)で7チャンネル「ふるさと発・元氣プロジェクト」で放映されることになった。放送時間は三月三十日午後一〇時から一〇時三〇分まで。



刀匠・安藤幸夫氏より日本刀を受けとる  
福田勝氏(左)

「キャストロイ」は、神戸製鋼所と福田博商店が共同開発した高級鑄物専用の新材料。日本刀の岡山県指定重要無形文化財保持者で刀匠の安藤幸夫氏が、長年、日本刀の良い材料がないかとさがしておられ、このキャストロイの不純物の少ないことに着目して、日本刀を鍛たれたところ、①低当りがよく粘りがある②研ぎ工程で刀身に錆が出ない③低温で鍛えられる④鍛錬中の刀身の折れやヒビ入り等の失敗が少ない⑤など古刀にせまる日本刀が鍛たたと

いう。

現在、刀は一般的には砂鉄を主原料として、「たたら」で作られる玉鋼を材料として鍛たれているが、なかなか古刀(室町以前に鍛たれた刀)に優るものが鍛てないといわれる。今回、刀匠・安藤氏はキャストロイ(EP銃、SP銃)で、「銃(ずく)、銃卸し(ずくおろし)、芯鉄を入れず、丸鍛え、低温の精錬と鍛錬、過度の折り返し鍛錬を避ける」といわれる古刀に近い作刀法で鍛たれた。

なお、日本鑄造工学会関西支部第四回関西鑄造懇話会が六月十二日に大阪府立大学(堺市中区)で開催されるが、同懇話会で「古刀にせまる日本刀になったキャストロイ」(福田博商店取締役会長福田勝、元神戸製鋼所川崎正蔵)が講演される。